



MARSEILLE

Dossier de presse - Press kit
Edition 2016

マルセイユ観光局 プレス資料
2016 年版

11 La Canebière - 13001 Marseille
Tel : + 33 (0)4 91 13 99 73
Fax : + 33 (0)4 91 13 89 20
presse@marseille-tourisme.com

www.marseille-tourisme.com

M CHOISISSEZ
MARSEILLE
THE ATTRACTIVE CITY
IN PROVENCE

Marseille
OFFICE DE TOURISME
ET DES CONGRÈS

マルセイユにようこそ

マルセイユ市は 15 年以上前よりレジャー観光、クルージング、ビジネス観光の発展を優先課題の一つに掲げてきました。

そして観光セクターの発展戦略と観光業界の努力により、ヨーロッパの数ある大都市の中でその地位を高め、さまざまな大型イベントの招致に成功してきました。

フランス第 2 位の都市マルセイユを必訪の観光地とするべく、10 年で 7 億ユーロを超える投資が実施されました。また、2013 年に「欧州文化都市」の大役を担ったことが、世界にその存在感を示し、「プロヴァンスの魅力ある都市 The Attractive City in Provence」へと変貌を遂げるきっかけになりました。

そうしたさまざまなイベントを通じて町のイメージも変わり、マルセイユはここ数年で「デザインとトレンドの町」として認識されるようになっていきます。マルセイユに授けられた数々の賞が、この驚くべき再生の証です！

具体例を挙げると、マルセイユは『ナショナルジオグラフィック』誌によって「訪れたい世界の都市トップ 10」と「訪れたい世界の海辺の都市トップ 10」に選出されました。また、ウェブサイト www.luxemagazine.com ではマルセイユのショッピングモール「テラス・デュ・ポール Terrasses du Port」の屋上テラス（ルーフトップ）が、「訪れたい世界のルーフトップ 10 選」にランクインしています。新生スタッド・ヴェロドローム Stade Vélodrome もウェブサイト www.eurosport.fr で、「ヨーロッパの美しいスタジアム」に選ばれました。加えてマルセイユ出身のコリーヌ・ヴェゾーニが「女性建築家賞」を受賞。さらにマルセイユは、『ニューヨーク・タイムズ』紙が選ぶ「2013 年度行ってみたい都市第 2 位」に輝きました。『企業と発展 l'Entreprise et l'Expansion』誌も、「もっともフレンドリーなビジネスの町」に選んでいます。さらに、ロンドンの権威ある王立都市計画研究所の「2014 年ヨーロッパの都市賞」も受賞しました。また、ヨーロッパ・地中海文明博物館 (MuCEM) は欧州評議会より「2015 年ミュージアム賞」を授けられました。2013 年にオープンしたこの博物館にとって、これはまさに大成功です。最近ではウェブサイト、トリバゴ Trivago が、プロヴァンス・アルプ・コート・ダジュール地域圏のもっとも優れたホテル 10 選に、マルセイユの 3 つのホテルを選出しています。

その一方でマルセイユは、その伝統的な魅力とマルセイユらしさを失ってはいません。57km に及ぶ海岸線、世界屈指の美しさを誇る錨地のほか、年間 300 日ある日照日やグルメをうならせる地中海料理、豊富な歴史遺産、現代的に生まれ変わった市中心部、そしてこの町に暮らすフレンドリーな人々がマルセイユの魅力を支えています！

さらに、マルセイユ市はその経済、観光、文化の発展に伴い、2013 年より市民と観光客の安全を守るために特別な努力を重ねています。その一環として、市内に 740 台を超える防犯カメラを設置したほか、新たに 200 人の治安要員を既存の部隊に加えました。今日、マルセイユ市警の人員数はフランスの市警察としては最大規模を誇ります。

マルセイユで日本人向けのサービスを提供している旅行会社「マルセイユ・ツアーズ Marseille Tours」のユミコ・イシイ・コンバン氏は、マルセイユについてこう述べています。

「マルセイユはパリやローマと同じように決して危険な都市ではありません。ここに住む前、私も危険なイメージをもっていました。素顔のマルセイユはフレンドリーで、観光客、とくに日本人を温かく迎えてくれる町だとわかりました」

数字で見るマルセイユ

今から 2600 年前に建設されたフランス最古の都市

フランス第 2 位の人口:855,393 人

面積はパリの 2.5 倍

57km に及ぶ海岸線(うち 20km はカランク)

年間日照日:300 日

2015 年の観光者数:500 万人

神戸を含む世界 13 都市と姉妹都市関係を締結

クルーズ港としてフランス第 1 位、地中海第 5 位

水問題の国際的中心都市(1996 年以来、世界の水問題に対処する民間シンクタンク「世界水会議」の本部が置かれている)

国際会議開催件数:フランス第 2 位(2014 年度国際会議開催統計 ICCA より)

ヨーロッパで 1 番目に認定された都市周辺国立公園(カランク)

2013 年度の「欧州文化都市」

2017 年度の「欧州スポーツ都市」

映像作品の舞台となった回数:フランス第 2 位

フランス語圏大学として世界第 1 位の規模を誇るエクス・マルセイユ大学

ホテル数 122、客室数 7,923

領事館数:フランス第 1 位(71 領事館)

地中海地方ナンバー1 の国際色豊かな都市

フランス最古のカトリックの聖堂(サン・ヴィクトール修道院と 1 世紀に造られた地下礼拝堂)

スポーツクラブ登録者数:250,000 人(人口の 1/4 超)

アクセス

マルセイユ・プロヴァンス国際空港 (www.aeroport.fr)

プロヴァンス地方第3位の空港(2015年の利用者数 830 万弱)で、2つのエアターミナルを備えています。

mp1: 大手航空会社の便が発着するグレードの高いターミナルで、ハイレベルのサービスを提供しています(VIP レセプション、サロン、並ばずにすむ VIP パス、団体向けサービス)

mp2: ヨーロッパの格安航空会社向けターミナル (www.mp2.aeroport.fr)

空港～市中心部(30km)の移動手段: www.mp.aeroport.fr にてチケットを販売

シャトルバス/4 時 30 分～00h10 まで 15 分毎に運行

鉄道 TER(地域圏急行輸送)/1 日 60 本超

スペイン、イタリア、北ヨーロッパへと通じる 3 本の高速道路がマルセイユで交わっています。そのためカマルグやアヴィニヨンまで 1 時間弱、サン・トロペまで 1 時間半、コート・ダジュールや直近のスキー場まで 2 時間で行くことができます。

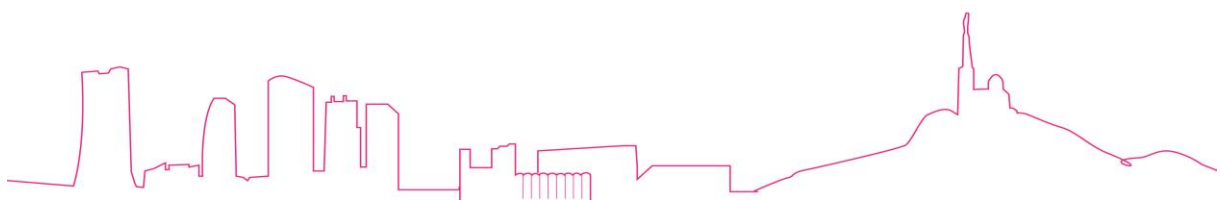
市内交通: 地下鉄 2 路線、トラム 3 路線、1,000 台のレンタル自転車と 130 のレンタルステーション、バス 88 路線、10,000 台弱の収容能力もつ 15 の駐車場が整備されています。

シャトル船(春～秋運航): 旧港～ポワント・ルージュ、ポワント・ルージュ～レ・グード、旧港～エスタックの 3 航路

www.rtm.fr

フェリー: 市庁舎 Hôtel de Ville からユイル広場 Place aux huiles まで(工事期間を除く)。

片道 0.5€



ぜひ訪りたい観光スポット

マルセイユは 16 区 111 地区から構成され、市内全域に歴史建造物、風光明媚な観光名所、意匠を凝らした建築物、美術館や博物館などが数多く点在しています。

ノートルダム・ド・ラ・ガルド寺院 Notre-Dame de la Garde: 寺院があるのはマルセイユ高い丘の上(標高 154 メートル)。マルセイユの町とそこに暮らす人々を護る聖母子像を収めたこの寺院は 1853 年に建立が始まり、聖別式が執り行われた 1864 年に完成しました。

旧港 Vieux-Port: 紀元前 6 世紀、小アジアのフォカイアに住んでいたギリシア人たちがラキドン入り江に上陸、この地に植民都市が築られました。古代と中世を通じて都市の発展は港の北岸にとどまり、南岸へ拡大したのは 1666 年、ルイ 14 世の命令と後押しがあつてからのことです。

最近ではイギリス人建築家ノーマン・フォスターとフランス人景観デザイナー、ミシェル・デヴィーニュが旧港の半歩行者専用化を含むマルセイユ中心部の再開発プロジェクトを成功に導きます。2013 年に整備された当プロジェクトは、『ル・モンド』誌の都市整備賞に輝きました。フラテルニテ埠頭 Quai de la fraternité に設けられたオンブリエール Ombrière は面積 1,000m²、高さ 6m の巨大な鏡張りの日よけで、観光の目玉となっています。

MuCEM: ヨーロッパ・地中海文明博物館 Musée des Civilisations d'Europe et Méditerranée

Le J4

旧埠頭J4に建築家ルディ・リッチオッティがロラン・カルタとともに設計した新しい建物が MuCEM の中核を成しています。J4(15,000m²)には二つの展示スペースがあり、一方には地中海文明の主要ステージを紹介する「地中海ギャラリー La Galerie de la Méditerranée」が収められ、もう一方は特別展の開催に使用されています。

www.mucem.org/en/bo-wu-guan-jian-xue-nozhun-bei

フリウル諸島 Iles du Frioul とイフ城 Château d'If: 沖合に白い石灰岩のシルエットを浮かせているフリウル諸島は、マルセイユの海岸に向かって連なるポメーグ Pomègues、ラトノー Ratonneau、イフ If、ティブラン Tiboulén の四島から構成されます。イフ島にあるイフ城は 16 世紀にフランス王 1 世が外敵からマルセイユを守るために建設させた古い要塞で、アレクサンドル・デュマの小説『モンテ・クリスト伯』の主人公が幽閉された場所として有名です。

ロンシャン宮 Palais Longchamp: 水の栄光を讃えるこの壮大な宮殿は当初、デュランス運河の建設に関連して造られましたが、今ではマルセイユに残る第二帝政時代(1852~1870)の建築物の精華の一つに数えられています。現在、美術館 Musée des Beaux-arts と自然史博物館 Muséum d'Histoire Naturelle として利用されています。

パニエ地区 Quartier du Panier : マルセイユの歴史地区で、2600 年前にギリシア人たちが入植して都市を築いたのがこの場所です。その由緒ある歴史の趣は残しつつ見事な改修を施した結果、狭い路地が迷路のように入り組むこの地区には現在、職人の工房、クリエイターのショップ、レストランなどが建ち並んでいます。また、同地区内にある旧施療院はミュージアムスペースとなっており、旧施療院センター Centre de la vieille Charité に二つの博物館が入っています。

ル・コルビュジエのシテ・ラディユーズ(ユニテ・ダビタシオン) Cité Radieuse(2016 年 7 月ユネスコ世界遺産登録): 長さ 165m、幅 24m、高さ 56m の建物で、公園に停泊している都市

内大型客船のような外観をしています。ル・コルビュジエの手になるこの建築物は、1947 年から 51 年にかけて造られました。打ち放しコンクリート、ピロティ、カラフルなロジgiaから成るこの建物にはアパートマン 337 戸と、ホテル 1 軒、レストラン 1 軒のほか、店舗群と芸術・デザインセンターなどが収められています。

マルセイユ観光局を通じて、シテ・ラディユーズと重要歴史建造物に指定されているアパートマン一戸を特別に見学することができます。事前申し込み要。

カラंक国立公園 Les Calanques:ヨーロッパ初の都市周辺部にある国立公園で、フランスの国立公園としては唯一、陸と海にまたがっています。カラंकとはこの地方特有の、石灰岩の断崖絶壁が織りなす複雑な地形の入江を指し、動植物の宝庫となっています(特定された植物は 9,000 種超)。カラंकは隣町カシまで広がっており、面積は 5,000 ヘクタール。うち 97%がマルセイユ市内にあります。

注意:公園内にある山塊への立ち入りは、6 月~9 月の安全と判断された日にのみ認められます。

オレンジ・ヴェロドローム Orange Vélodrome:収容人数 67,000 人。スタッド・ド・フランスに次ぐ国内第 2 位の規模を誇るこのスタジアムは 1937 年に建設され、2016 年のサッカー UEFA 欧州選手権の開催に向けて 2014 年に全面的に改修されました。多目的スタジアムで、サッカーやラグビーの試合のほか、有名ミュージシャンのコンサートや企業イベントなども開催できます。

ここを本拠地とするオリンピック・マルセイユ(OM)はフランスで最多のタイトルを獲得しているサッカークラブです。またスタジアムは Eurosport.fr により「ヨーロッパの美しいスタジアム」に選ばれました。

マルセイユ観光局を通じて申し込めば、スタジアムを特別に見学できます。

www.resamarseille.com

映画の都マルセイユ

マルセイユは映画と深く結びついており、映画監督や脚本家たちを魅了しています。長い歴史をもつこの町は人々の興味を掻き立てる魅力にあふれていますが、その独特の魅力がなんなのか、きちんと説明できる人はいないでしょう。あの暖かくてまばゆい光でしょうか？ それとも、この町を象徴する青い海？ 多様性に富む豊かな歴史遺産？ 一つ確かなのは、その風景、飾らない素朴な美、強い個性、そしてマルセイユを通じて見出された多くの才能豊かな人々のおかげでマルセイユは現在、フランスの数ある大都市と肩を並べてフランス映画界の名誉ある地位を——テレビドラマにおいても映画作品においても——占めるようになったということです。

映画の舞台としてのマルセイユ

あまり知られてはいませんが、マルセイユは多くの著名な俳優、監督、映画人と深く結びついています。例)フェルナンデル(俳優、1903～1971)、イヴ・モンタン(1921～1991、マルセイユ育ちの俳優)、エリック・カントナ(俳優、1966～)、スコット・イーストウッド(俳優、1986～)など

また、作品の舞台となることが多く、そこではマルセイユ自体が重要な、さらには決定的な役割を果たしている場合もあります。この町の風景や撮影所が数々の作品の舞台装置として使われてきました。例)1930年代のマルセル・パニョルの三部作、2000年代に撮られたリュック・ベッソンの『タクシー』シリーズ、ネットフリックス社制作で、ジェラルド・ドパルデュールが出演するドラマシリーズ『マルセイユ』(2016年春よりフランスで放映)など

ビュジーヌ城La Buzine:映画に捧げられた城

マルセル・パニョルの作品名である「母のお屋敷Château de ma mère」の名でより有名なこのビュジーヌ城は、2011年より地中海映画会館Maison des cinématographies méditerranéennesとして利用されています。

海

マルセイユでは海や海岸線、そして沖に浮かぶ島々がきわめて豊かな自然遺産を作り出し、この町をマリンスポーツツーリズムの世界的中心地に押し上げています。

素晴らしい設備

マリーナ

- 57km の海岸線に 24 の港が点在し、計 10,000 個の係留環が設けられています。これらの港を備えたマルセイユ・プロヴァンス・メトロポール大都市共同体(MPM)はプレジャーボートの拠点としてフランス第 1 位、ヨーロッパ第 2 位(1 位はイギリスのチチェスター)の地位を誇ります。

ビーチとマリンスポーツ

- 42 kmの海岸線に監視員のいる 15 のビーチが広がっており、夏は平均 200 万人の利用客で賑わいます(7~8 月)。

プラド南ビーチ Plage Prado Sud: 2006 年、ビーチとしてはフランスで初めて品質保証ラベル「観光とハンディキャップ」を取得しました。

各ビーチの安全対策とイベント: 季節限定でライフセーバーが約 100 人配置されています。

- 100 ほどのマリンスポーツ協会やクラブが年間を通じて多様なアクティビティを提案しています。例)ヨット、ボート、シーカヤック、スポーツフィッシング、パワーボート、サーフィン、カイトサーフィン、水上銃試合、ピローグなど

- フランスにおけるハイレベルのヨット競技の中核を担い、アスリートのトレーニングの拠点となっています。アスリートの半数はマルセイユのクラブの出身で、リオデジャネイロ五輪のヨット代表に選ばれた選手もいます。

国際的に名高い各種イベント

マルセイユは毎年、世界規模のスポーツイベントを数多く開催し、スポーツ都市というそのイメージを強化しています。

エクス・マルセイユ・プロヴァンス・メトロポール(都市共同体)では年間およそ 250 のマリンスポーツイベントが開催されています。

エクス・マルセイユ・プロヴァンス・メトロポールにとって、海は発展の中心軸です。

クルージング

クルージング

地中海のはずせないクルージング観光地であるマルセイユ。その港はプロヴァンス地方を代表し、フランス第1位の乗船者数を誇ります。

さらに、マルセイユからほど近い場所にエクス・アン・プロヴァンス、カシ、バンドール、ル・ペイ・ドーバーニュ、アルピーユ山脈、サン・レミ・ド・プロヴァンス、レ・ボー・ド・プロヴァンス、アルル、カマルグ、リュベロン、アヴィニヨンなどがあります。

いずれも観光で立ち寄りたい、あるいはクルージングの前後に滞在したい場所です。

クルージングにまつわる数字：

2013 年：マルセイユに寄港したクルージング客数 119 万人

2014 年：同 131 万 5 千人

2015 年：同 150 万人

2018 年：同 200 万人が見込まれています。

マルセイユに寄港した実績のある大手客船運航会社：

コスタ・クロワジエール Costa Croisières、MSC クロワジエール MSC Croisières、クロワジエール・ド・フランス Croisières de France、ロイヤル・カリビアン・インターナショナル・クルーズ Royal Caribbean International Cruises、ウィンドスター・クルーズ Windstar Cruises、ホーランド・アメリカライン Holland America Line、シーボーン・クルーズ・ライン Seabourn Cruise Line、セレブリティ・クルーズ Celebrity Cruises、オーシャニア・クルーズ Oceania Cruises、シルバーシー・クルーズ Silversea Cruises、リージェント・セブン・シーズ・クルーズ Regent Seven Seas Cruises、アザマラ・クルーズ Azamara Cruises、シー・クラウド・クルーズ Sea Cloud Cruises、ポナン Ponant、プリンセス・クルーズ Princess Cruises、セレスティアル・クルーズ Celestyal Cruises など

マルセイユは地中海のクルージング港のトップ 5、さらにニューヨークを抑えて世界のクルージング港のトップ 15 にランクインしています！

マルセイユでショッピング！

充実の一途をたどるショッピングオファー

この十年でマルセイユ中心部のショッピング街は高級店が進出し、さらには現代的なショッピングセンターがオープンしたことで質、量ともに大きな発展を遂げました。この新たな環境は地元民のみならず観光客をも惹きつけています。

市中心部のブティック

マルセイユには市中心部の 5,900 店を含む計 15,000 店舗があり、いまや堂々たる“ショッピング”観光地となっています。

市中心部の真ん中には服飾関連の店が多く集まっており、健康・美容関連の店やミドルおよびハイクラスの店も増加しているほか、文化・レジャー関連の店も微増しています。

ショッピングの新トレンド

市中心部再開発の一環として、マルセイユ市は 2015 年、新たに商業集客拠点をいくつかオープンさせ、発展へと導きました。

- **レ・テラス・デュ・ポール Les terrasses du port** - 2014 年 5 月にオープンしたショッピングモールで、面積は 61,000m²、190 店が入っています。マルセイユ中心部、ジョリエット広場に近く、旧港から徒歩 10 分の場所にあり、週 7 日無休で営業しています。レストラン、プロムナードおよびリラックススペース、質の高い商品を扱うショップ、アートコーナーのほか、種々のユニークなサービスを利用できます。レ・テラス・デュ・ポールは近年実施されたものとしてはヨーロッパ最大規模を誇る都市再開発事業の一翼を担い、マルセイユ再生の立役者となっています。

- **レ・ヴート Les Voûtes** - ヨーロッパ・地中海文明博物館 MuCEM、ヴィラ・メディテラネ Villa Méditerranée、プロヴァンスの視点美術館 Musée Regards de Provence を中心とした新しい文化地区の真ん中にあり、2015 年 9 月に正式にオープンしました。マジョール大聖堂 Cathédrale de la major の下方にあるこのショッピングセンターには、本物志向の店と地中海料理の価値を高める高級レストランが集まっています。

レ・ヴートには「レ・アール・ド・ラ・マジョール les Halles de la Major」も入っています。これはマルセイユ初となる、市場とイブニングパーティスペースを融合するコンセプトにもとづくもので、市場にはその場で食べたり、テイクアウトしたりできる 11 の食料品店（青果、精肉、家禽、牡蠣など）が揃っています。

- **レ・ドック・ヴィラージュ・マルセイユ Les Docks village Marseille®** - ユーロメディテラネ地区の中心部にあるこの施設は、古い港湾建築物をオフィスや店舗に転用したもので、2015 年 10 月 10 日にその改修工事を終えて生まれ変わりました。全面的にレイアウトし直された上下二つの 1 階フロアには 80 のショップとレストランが配されています。時代のトレンドに敏感で、華やいだ雰囲気をもつこのフレンドリーな施設には、個性派ブティックや独立系アーティストやクリエイターの店、地元マルセイユのブランドなどが集まっています。

- **ル・プラド Le Prado** - 2017 年、ショッピングセンター「ル・プラド」がマルセイユ市の都市プロジェクトの目玉となる予定です。新生スタッド・ヴェロドロームやコンベンションセンター（Parc Chanot Marseille）といった中核施設の近くに建設予定のこの商業施設は、マルセイユの現代性を象徴する新たなモデルとなるでしょう。

マルセイユの美味しいもの・・・才気煥発な料理人たち

グルメをうならせる料理の数々

マルセイユには美味しいものがいっぱい。例を挙げれば・・・。

有名なブイヤベース、ピストウ(バジルペースト)の Pasta、フリユイ・ド・メール(魚介の盛り合わせ)、ファヴィユ(蟹)入りライス、アルエット・サン・テット(「頭のないひばり」の意味で、ひき肉を牛肉で巻いて煮込んだ料理)、プロヴァンス風牛肉の蒸し煮、ピエ・エ・パケ(仔羊の胃や足をトマトや白ワイン、プロヴァンスハーブなどで煮込んだ料理)、アイオリ(ニンニクとオリーブオイルのソース)、タプナード(オリーブのペースト)、アンショイアード(アンチョビのディップ)、野菜のファルシ(詰め物)、ヤリイカのファルシ、パニス(ヒヨコ豆のペーストの揚げ菓子)、シシ・フレジ(エジプト豆の揚げ菓子)、岩場の魚のスープ、そしてもちろん、スズキ、鯛、サール(スズキ目の魚)などのグリエのルイユ(赤唐辛子ソース)添え、など

ナヴェット Navettes

オレンジの花の香りが付いた伝統菓子で、7～8cm の小さな舟の形をしています。約 2000 年前の 2 月 2 日、プロヴァンスの海岸に聖ラザロをはじめとする聖人たちが船でたどりついた故事を祝うために作られます。

ブイヤベース La Bouillabaisse

元は漁師たちが食べる庶民的な料理でしたが、現在ではフランスの美食を代表する料理の一つに数えられています。

ブイヤベースは通常、最初にスープ、次に魚と二段階に分けて供されますが、この伝統のレシピに大胆なアレンジを施す若いシェフもいます(ブイヤベースのミルクセーキ、ブイヤベースのハンバーガーなど)。

マルセイユのブイヤベースには以下の魚のうち最低でも 5 種を入れなければなりません。アンコウ類、白カサゴ、西洋アナゴ、足長ガニ、赤カサゴ、ホウボウ、マトウダイ、セミエビ、イセエビ

マルセイユ観光局ではレストラン「ル・ミラマール」と提携し、「ブイヤベース料理教室」を開催しています。シェフ、クリスチャン・ビュファがマルセイユの郷土料理の代表格であるブイヤベースの奥義を伝授します。www.resamarseille.com

星がきらめくマルセイユ・・・

ル・プチ・ニース・パセダ Le Petit Nice Passédat (ミシュラン 3 ツ星) www.passedat.fr

パセダ家が三世代にわたって切り盛りしてきた崖上にある名店。創業は 1917 年で、当時は海沿いを走るコルニッシュ通りの庶民的なレストランにすぎませんでした。シェフは MuCEM のレストランでも腕を振っています。

レピュイゼット L'Epuisette (1 ツ星) www.l-epuisette.com

コルニッシュ通りの下、小さな漁港ヴァロン・デ・ゾフにあり、水平線にフリウル諸島を望む絶景が楽しめます。シェフ、ギヨーム・スリウーのプロヴァンスと地中海を讃える料理が自慢です。

シェ・ミシェル Chez Michel (1 ツ星) www.restaurant-michel-13.fr

旧港から 5 分、カタラン通りにある海に面したレストラン。絶品の魚料理と魚介の盛り合わせが味わえます。

ラルシオン L'Alcyone (1ツ星) <http://marseille.intercontinental.com/gouts-et-saveurs/restaurant-gastronomique.html>

インターコンチネンタルホテルのレストランの元シェフ、リオネル・レヴィが手がけるレストラン。移籍前に彼が働いていた「ユヌ・ターブル・オ・シュド」で獲得した星を当店にももたらししました。

ユヌ・ターブル・オ・シュド Une table au Sud (1ツ星) <http://www.unetableausud.com/>

ル・アー・エム Le AM (1ツ星) <http://alexandremazzia.com/>

2016 年版ミシュランガイドに新カテゴリー「アシエット」登場

2016 年版ミシュランガイドに格付けの新カテゴリー「アシエット [L'assiette](#)」が登場しました。これはデジタル版ではない紙版ガイドにて、星付きでも「ビブ・グルマン（手頃でおいしい店）」でもないレストランを讃えるためのもので、「食材の質とシェフの腕：素直においしい料理」という選考基準を満たしたレストランに与えられています。

2016 年度ミシュランガイドで「アシエット」を獲得したマルセイユの 18 のレストラン

シェ・フォンフォン Chez Fonfon
ル・グラン・ド・セル Le grain de sel
レスカパド・マルセイエーズ L'Escapade Marseillaise
ル・プル・ノワール La Poule Noire
ラ・ターブル・デュ・フォール La Table du Fort
ル・カフェ・デ・ゼピス Le Café des Epices
ル・グー・デ・ショーズ Le Goût des Choses
ル・ロラセ Le Lauracée
ル・モル・パセダ – ラ・ターブル Le Môle Passédat – La Table
ル・プルプ Le Poulpe
ル・ルレ 50 Le Relais 50
ル・ヴァントル・ド・ラルシテクト Le Ventre de l'Architecte
レ・トロワ・フォール Les Trois Forts
ル・パレ・ド・ラ・マジョール Le Palais de la major
ル・ペロン Le Péron
シリング Schilling
ティブラン・ド・メール Tiboulén de maire
アーバン・キッチン Urban kitchen

<http://restaurant.michelin.fr/restaurants/france/13000-marseille/>



マルセイユ観光局が提案する おすすめプラン

マルセイユで過ごすひとときの旅

マルセイユは飛行機や高速鉄道(TGV)の便が多いため、短期滞在に理想的な旅行先です。ホテル、ウィークエンド滞在プラン、イベント、スポーツアクティビティ、料理教室等の予約など、マルセイユ観光局は皆さまにさまざまなサービスを提供しています。お好みに合わせてお選びください！

当観光局では短期滞在に特化したウェブサイトを開設し、以下のサービスやプランを提案しています。

- ホテルの予約(星なし～5ツ星)
- 料理教室
- ガイト付き観光
- シティパス(24時間、48時間、72時間)
- 子供向けシティパス(7～15歳)
- カランククルージング
- ミニトレイン、二階建て観光バス、サイクリング、市内バスツアーなど
- ダイビング、シュノーケリング、シーカヤックなどの入門教室

ほかにも、ひとときの旅のプランをいくつかご用意しています。

***マルセイユ・エシャペ・ベル Marseille Echappée Belle: 自由に楽しむマルセイユ(1～3泊)**
2ツ星ホテルのダブルルームを利用した場合: 65€～/1名
内容/1名: お好みのカテゴリーのホテルに 1泊(朝食付き、宿泊税込み)、シティパス 1枚(24、48、72時間)

***マルセイユ・グルマンド Marseille Gourmande:**
2ツ星ホテルのダブルルームを利用した場合: 199€～(1泊追加可能)/1名
内容/1名: お好みのカテゴリーのホテルに 2泊(朝食付き、宿泊税込み)、シティパス 1枚(48時間)、レストラン「ミラマール」にてブイヤベースのディナー1回、旧港で飲むアペリティフ1杯

***マルセイユ、海とカラंकのあいだで Marseille Entre Mer et Calanques:**
2ツ星ホテルのダブルルームを利用した場合: 152€～/1名
内容/1名: お好みのカテゴリーのホテルに 2泊(朝食付き、宿泊税込み)、シティパス 1枚(48時間)、伝統の小舟に乗ってのマルセイユ湾めぐり(10月～6月)、またはカラंकでのシュノーケリング(6月～9月)

予約: www.resamarseille.com 0 826 500 500 (0.15€/1分、固定電話より)

マルセイユ・シティパス

観光とカルチャーの“欲張りな”フリーパス。連続使用 24 時間(26€)、48 時間(33€)、72 時間(41€)の 3 種類。美術館や博物館、各種観光サイトに入場でき、イフ島往復の船、ミニトレイン、公共交通機関が乗り放題となるほか、種々の特典あり。MuCEM にも入場可能。子供向けに特別料金のパスも用意(17、20、23€)。一部のショーの割引も受けられます。

モバイルアプリ



2016 年新着情報！

モバイルアプリ「**Marseille City Pass**」が日本語と中国語でも利用できるようになりました。Play Store (Android) または Apple Store (iOS) からダウンロードできます。



モバイルアプリ「**Nous Sommes Marseille**」を Play Store (Android) または Apple Store (iOS) からダウンロードして、滞在や観光の賢いプラン作りに役立ててください。マルセイユ観光局が発信する情報を利用して、どうぞ充実の旅を！

ガイド付き観光

ガイド付き観光：9～13€

人気のあるプラン：

歴史地区パニエ：毎週土曜日

レスタックの画家たち：セザンヌ、デュフィ、ブラックなど

都市と港の歴史散策：毎週日曜日

光の中のマルセイユ ナイトツアー：7～8 月の毎週金曜日

ノートルダム・ド・ラ・ガルド Notre-Dame de la Garde：大聖堂とマルセイユを 360°見渡す眺望を味わう

MuCEM 周辺の建築物探訪

詳しい情報は：

<http://www.marseille-tourisme.com/fr/a-marseille/comment-faire/visites-guidees/>

マルセイユ観光局だけの特別企画！

シテ・ラディューズ Cité Radieuse- ル・コルビュジエ(ユネスコ世界遺産)

月曜～土曜の各日に催行している特別見学ツアー。14 時～16 時(祭日は除く)

土曜日に英語/仏語の追加ツアーを催行することもあり。10 時～

料金：大人 10€、子供(5～11 歳)5€、シティパス使用不可

建物の供用部分と重要歴史建造物に指定されているアパルトマン一戸を見学します。

新生スタッド・ヴェロドローム Le Nouveau Stade Vélodrome

ガイドの引率のもと、新生スタッド・ヴェロドロームの舞台裏を見学。1938 年のサッカーワールドカップ開催に向けて 1935 年に建設され、1998 年の同大会開催を機に拡張、改修、その後もさまざまな変遷を経て今日に至る当スタジアムの興奮の歴史をたどります。

所要時間 1 時間 15 分 – 料金: 大人 13€, 子供 (6~12 歳) 8€, シティパス使用不可

インフォメーションおよび予約: resamarseille.com、Tel: 0826 500 500

趣向を凝らした観光プラン

マルセイユ・シティー・ツアー Marseille City Tour: オープンカータイプのミニバスを使ったオーディオガイド付きツアー。所要時間: 2 時間または 3 時間。料金: 13€または 20€, 子供 (5~12 歳) 7€または 11€

マルセイユ・オープン・ツアー Marseille Open Tour: 18km のコースをめぐるオーディオガイド付きツアー。1 日 (19€) または 2 日 (22€)。13 サイトを観光。割引料金 17€, 子供 (4~11 歳) 8€

ナイトツアー: 5~9 月の毎週木曜日と土曜日の 20 時~、15€

ミニトレインでめぐるマルセイユ Marseille en Petit train: 2 コース (ノートルダム・ド・ラ・ガルド、パニエ地区)、料金: 大人 7€~、子供 3€~

三輪タクシー「トゥク・トゥク」でめぐるマルセイユ Marseille en Tuk Tuk: 2 時間 – 旧港、パニエ地区、ノートルダム・ド・ラ・ガルド。1~3 人 75€, 4~6 人 125€

マルセイユ電動自転車ツーリング Marseille e-bike tours: 電動自転車でめぐる解説付きツーリング。3 コース。海辺を走る「ル・ツール・ルー・ピチュン Le tour Lou Pitchoun」(3 時間、39€)、市中心部と海辺を走る「ル・ツール・デュ・ファダ Le tour du fada」(4 時間、49€)、カラंकまで遠出する「ル・ツール・オ・カラंक Le tour aux calanques」(7 時間、79€)

新登場 2 人乗りミニオープンカーでめぐるマルセイユ Marseille en mini décapotables 2 places: 2 人乗り 50CC ミニオープンカーを使った楽しくユニークな市内観光。各車両に GPS とオーディオガイドとして使えるタブレット端末を搭載。「エクスプレス・ツアー Express Tour」35€、「クラシック・ツアー Classic Tour」55€、「コルニッシュ・ツアー Corniche Tour」65€

新登場 電動キックスケーター散策 Balades en trottinette électrique: ガイド付き。マルセイユ中心部の名所をめぐる (旧港、市庁舎、MuCEM 広場、マジョール大聖堂、ジョリエット地区、パニエ地区など)。

2 時間コース: 大人 28€, 子供 (12~16 歳) 21€, 同乗の子供 (7~10 歳) 10€

料理をテーマにしたアクティビティ

レストラン「ル・ミラマール」のブイヤベース教室

毎月第 3 木曜日、9 時 30 分~14 時、1 人 120€

まずは旧港でマルセイユの歴史に触れ、シェフの引率で魚市場へ。その後、本場のブイヤベースを作って試食。

海とカラंक国立公園を楽しむアクティビティ(春、夏限定)

ダイビング

6月中旬～9月中旬、14時～17時30分、1人65€

ダイビング初心者が対象。インストラクター付き。カラंकや湾内に点在する島の動植物を見ることができる。8歳以上なら誰でも参加可。

シュノーケルツアー

毎日14時～17時、大人25€、子供23€、家族44€

マスク、フィン、シュノーケルを装着して、海底を探検。泳ぐことができれば、誰でも参加可。

新登場シーカヤック

4月～10月の水曜日～土曜日

*シーカヤックに乗って夕日を見る:18時～21時(季節に応じて変わる)

料金:35€

操船の手ほどきを受けたあと、マルセイユ湾の景色を堪能しつつヴァロン・デ・ゾフまで移動。ユニークな感動体験をぜひ！

*シーカヤックで行くカラंक1日ツーリング:8時～17時

料金:65€

断崖、浅瀬、洞窟、無人島への航走…。海岸線のすぐ近く、有名なカラंक公園で思い出に残る1日を過ごす、シーカヤックでしか味わえない貴重な体験。ピクニックタイムではのんびり海水浴も楽しめる。

新登場カラंकで楽しむクライミング

カラंक・ド・モルジュー、またはカラंक・ド・ソルミューでクライミングの手ほどきを受けるスポーツアクティビティ

プログラムに応じて9時～12時または14時～17時。料金38€(8歳以上)



自然と持続可能な発展

水の管理

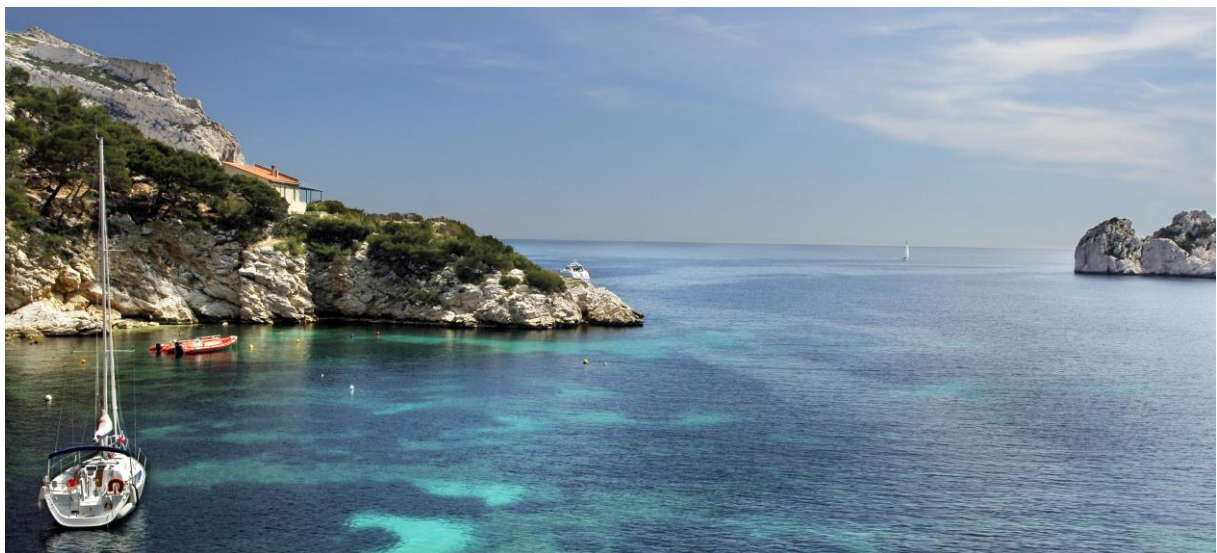
マルセイユ市は何年も前から水の持続可能な管理について大胆で先駆的な施策を講じています。しかもマルセイユの水は、「フランスー良質」とされています。

カラंक国立公園 Parc national des Calanques

海に切り立つ石灰岩の断崖が織りなす壮大な景観とコスケの洞窟で世界的に有名なカラंक国立公園は、多様な生物と類まれな文化遺産の宝庫でもあります。フランス第2の都市のすぐそばにあるこの広大な自然遺産が今、生態系のバランスを脅かす数々の圧力や危険にさらされています（集中的あるいは拡散的な汚染、特定の時期や場所に大量して訪れる観光客、森林火災、資源の過度の採取や密漁など）

カラंक国立公園はおもに以下の使命を担っています。

- 自然、景観、文化遺産を保護する。
- 地中海地方が直面する重要課題を解決するため、情報や知識の集積に貢献する。
- 広く一般の人々を迎え入れ、情報や知識を伝える。
- さまざまな活動を管理し、規則を遵守させる。
- 持続可能な観光の発展を推進し、フランスの国立公園の価値を高めるため2015年に導入され、公園の遺産に配慮した製品やサービスに付与される「エスプリ・パルク・ナショナル」マークなどを通じて、地域の名声向上に寄与する。



連絡先

皆さまのご要望に素早く対応する観光局のチームが、皆さまの旅のテーマの実現をお手伝いします。さらに、新しい旅のテーマの提案や、マルセイユに出張される皆さまをお迎えするサービスも行っています。

シルヴィー・アルマン Silvie ALLEMAND

コミュニケーション、プレス、出版担当

sallemand@marseille-tourisme.com

固定電話: +33(0)4 91 13 89 19 携帯: + 33 (0) 6 73 86 09 80

ベアトリス・マンザト Beatrice MANZATO

プレス・アシスタント Attachée de Presse Junior

bmanzato@marseille-tourisme.com

固定電話: +33(0)4 91 13 99 73 携帯: + 33 (0) 6 79 44 18 78

プレス専用サイトとフォトライブラリー

マルセイユ観光局公式サイト www.marseille-tourisme.com 内にはプレス向け専用サイト (Espace Presse) を用意しております。

高解像度のビジュアル素材をダウンロードするには、まずトップページから「espace presse」(プレス専用サイト) 内の「photothèque」(フォトライブラリー) のリンクをクリックし、ユーザー登録してください。メールにて、写真をダウンロードするために必要なパスワードとユーザー名が送られてきます。ID はダウンロードの期間や量を制限するものではありません。ダウンロードできない場合は、当観光局の Web 担当までご連絡ください。

vverdi@marseille-tourisme.com

[+33\(0\)491139976](tel:+33(0)491139976)

SNS

フォローお待ちしております！



Office de Tourisme et
des Congrès de Marseille



@choosemarseille



#choosemarseille